



レポート
NPO主催の
セミナーで
エコセメント事業の
説明を行いました

去る2月12日(日) NPO法人ごみ・環境ビジョン21主催の「市民ごみ大学セミナー」が国分寺労働会館にて開催されました。今回のセミナーのテーマは「循環型社会におけるごみ焼却灰の処理をどう考える 本格稼働を迎えるエコセメント事業」でした。
岡山大学大学院・田中勝教授による焼却灰処理についての基調講演の後、処分組合の石川良一管理者と太平洋セメント(株)の担当者が、それぞれの立場から説明を行い、来場者からの質問に答えました。石川管理者はエコセメント事業の本格稼働に向け、事業の目的や安全性、資源循環への取り組みや多摩地域のごみ問題について熱意を込めて語りました。



エコセメント事業についての質問に答える石川良一管理者。

日の出だより



第16回 桜まつりを開催

日の出町では、春の訪れとともに平井川堤防沿いのソメイヨシノ約150本が開花して、周辺を訪れる人々の目を惹きつけます。今年も春の恒例行事、「桜まつり」を開催します。期間中は午後5時～午後9時まで、桜に飾り付けた提灯を点灯します。また、4月8日(土)にはイベントを行います。

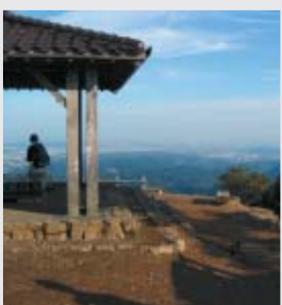


桜まつりで野点を体験してみませんか？

期間 / 平成18年4月1日(土)～4月16日(日)
場所 / 塩田耕地域
桜まつりイベント
日時 / 4月8日(土) 午前10時～午後3時30分
場所 / 町民グラウンド
内容 / 民謡流し踊り、ステージショー、飲食模擬店、フリーマーケット、乗馬体験コーナー・ミニ動物園、野点無料サービス
雨天の場合は翌日(9日)に順延

登ってみませんか？ 日の出山ハイキング

新緑の季節、大自然を感じながら、日の出山に登ってみませんか。標高902m、秩父多摩甲斐国立公園の一角に位置し、豊かな自然に恵まれた日の出山は、子どもから高齢者まで気軽に歩けるハイキングコースとして人気です。山頂では、奥多摩の山々はもろろん関東平野が一望できます。帰りは麓の「つるつる温泉」でひと風呂浴びて、心も体もリフレッシュを!



山頂からの眺望をお楽しみください。

上記に関するお問い合わせ先
日の出町観光協会ホームページ <http://www.hinode-k.jp>
日の出町観光協会(日の出町役場経済課内) TEL.042-597-0511(内線241・242)



ホームページをリニューアルしました
<http://www.tokyo-shobunkumiai.com>

処分組合では、組合事業に関する情報を正確かつ迅速に提供することを目的として、ホームページを開設しています。本年2月より、さらに使いやすいホームページをリニューアルしました。訪れた方が知りたい情報を探しやすいように、画面のレイアウトを変更し、新たに検索システムを導入しました。また、子どもから

情報は随時更新します。
ぜひアクセスを!

お年寄りまで、さまざまな方々に見ていただけるようなページ構成を目指しています。ごみの埋立事業、エコセメント事業、環境保全など、処分組合の事業内容について詳しく紹介していますので、ぜひご覧ください。

ホームページをご覧ください
<http://www.tokyo-shobunkumiai.com>

処分組合では、処分場の敷地内や周辺の土壌、水質など環境調査の結果をホームページで公表しています。ぜひアクセスしてみてください。

発行・問い合わせ先
TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449
処分組合ニュースの内容やごみ処理に関するお考えなど、みなさまのご意見を、お手紙、FAX、電子メールでお聞かせください。
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内
東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合「処分組合ニュース係」
[メールアドレス] sskumiai@tokyo-shobunkumiai.com

SHOBUNKUMIAI JAB 多摩390万人のごみ情報紙 年4回発行・平成18年3月 VOL.37 Mar.2006

処分組合ニュース

発行：東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合
[事務局] 〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内 TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449
ホームページ <http://www.tokyo-shobunkumiai.com> メールアドレス sskumiai@tokyo-shobunkumiai.com

八王子市 昭島市 東村山市 清瀬市 西東京市
立川市 調布市 国分寺市 武蔵村山市 瑞穂町
武蔵野市 町田市 国立市 武蔵野市 武蔵野市
三鷹市 小金井市 福生市 多摩市
青梅市 小平市 稲城市 稲城市
府中市 日野市 東大和市 羽村市

処分組合は組織団体からの負担金で運営されています

「処分組合」とは...?

二ツ塚処分場・谷戸沢処分場(日の出町)を管理・運営している特別地方公共団体で、多摩地域25市1町の約390万人の可燃ごみ焼却灰や不燃ごみを、日の出町のみなさまの協力を得ながら埋立処分しています。みなさまと共にごみ問題の解決に取り組んでいます。

【1面】エコセメント化施設がいよいよ稼働します!!
【2・3面】自治体で初めての取り組み!!「エコセメント事業」
【4面】日の出だより、処分組合の動き、組合議会だよりなど



資源循環型社会を力強く推進する エコセメント化施設が いよいよ稼働します!!

施設の建設工事は9割完成 本年6月中には稼働開始

処分組合では、物質循環のモデルとして注目を集める「エコセメント事業」に取り組んでいます。
リサイクル先進地域・多摩のさらなるリサイクル推進
二ツ塚処分場を長く有効に活用
安全な埋立対策の推進
という3つの目的を掲げ、埋立するしかなかったごみ焼却灰をセメントにリサイクルし、資源循環型社会の実現をめざしています。
現在、施設の建設工事は全体の9割以上が完成しており、試運転を繰り返した後、6月中には稼働する予定です。

4月1日より、組合名が 新しくわかります

エコセメント化施設の稼働により、処分組合の事業も新しい段階を迎えます。これまで埋立を中心としていた事業が、資源循環を図るものに大きくシフトしていくことになるのです。
それにともない、4月1日より、組合名称をこの新しい事業にふさわしい「東京たま広域資源循環組合」へと変更します。
資源循環の推進に取り組むとともに、引き続き安全な処分場の運営につとめていきます。
多摩地域住民のみなさんに、今後もさらなるごみ減量へのご協力を、ぜひお願いします。



6月中に稼働を開始するエコセメント化施設(平成18年1月撮影)

新しい名称 **東京たま広域資源循環組合**
ひらがなの「たま」は、地域・行政区域の「多摩」ではなく、住民のみなさんが生活する「場」を表しています。



組合名称変更にともない ニュースの 名称を 大募集!

処分組合は物質循環を推進する組合にシフトしていきます。そこで、次号より「処分組合ニュース」の名称を変更します。多摩地域のごみ問題をみなさんと考える広報紙にぴったりの名称を、ぜひ考えてください。優秀なアイデアをお寄せいただいた方には、賞状・記念品などを贈呈いたします(同じ名称に多数の応募があった場合は抽選)。右記の募集要項をお読みのうえ、**どどんどん応募してね!!** ふるってご応募ください。

募集期間 平成18年4月1日～4月28日
(はがきは当日消印有効、メールは締切日の到着日まで)
応募資格 多摩地域にお住まいの方、または多摩地域の会社・学校等に通勤・通学されている方はがき、またはインターネット・メール
(メールアドレス: sskumiai@tokyo-shobunkumiai.com)
いずれの場合も(1)ニュースの名称、(2)名称についての説明(意味、理由など)、(3)住所、(4)氏名、(5)年齢、(6)住所が多摩地域でない方は通勤・通学先を記入のうえ、ご応募ください。
(1)(3)(4)の記入がない場合は無効とします。
名称決定 平成18年5月ごろ、処分組合において厳正な審査を行い決定
平成18年6月ごろ発表
賞品等 賞状・記念品・商品券





稼動直前! エコセメント特集 ①

自治体で初めての取り組み!! 「エコセメント事業」

処分組合が取り組む「エコセメント事業」について紹介します。



エコセメントについて

ごみの焼却灰を主な原料としてつくられる新しいタイプのセメントです。

エコセメントは、可燃ごみを燃やしたあとに残る焼却灰を主原料として製造される、新しいタイプの土木・建築資材です。エコロジーの「エコ」と「セメント」を合わせて名付けられました。焼却灰にはセメントに必要な成分が多く含まれているため、原料として再利用ができるのです。また、日本工業規格(JIS)で規定されており、普通セメントと同等の性質を持つことが実証され、安全性も十分に確認されています。



エコセメント。

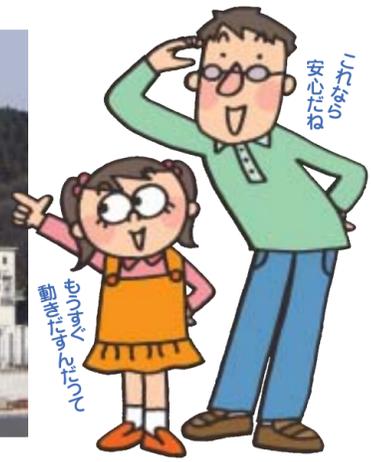
エコセメントは安全です

製造工程におけるダイオキシン類・重金属類対策は万全です。

エコセメントは、その製造工程において、ダイオキシン類や重金属類を処理するために万全の対策がとられています。焼却灰に含まれるダイオキシン類は1,350以上の温度で焼成することで分解され、無害化します。また、このときに発生する排ガスは急速に冷却して再合成を防止し、さらにろ過式集塵機(バグフィルタ)で排出ガスを安全に処理します。また、重金属類を含んだ飛灰もバグフィルタで集められ、重金属回収設備で酸やアルカリによって処理・回収されるため、外に排出される心配はありません。



重金属を回収する設備。



エコセメント事業の必要性と今後

限りある二ツ塚処分場を長く、有効に利用していくためです。

多摩地域では可燃ごみの焼却灰と不燃ごみのほとんどを二ツ塚処分場に埋め立てています。しかし、二ツ塚処分場の埋立容量には限界があり、すでに4割以上が埋め立てられました。このままだとあと8年でいっぱいになってしまいます。しかし、用地確保などの問題から新しい処分場をつくるのは困難な状況です。埋立処分されるごみの約8割は焼却灰です。これをエコセメントの原料としてリサイクルすることで、埋立処分する廃棄物は不燃ごみだけとなり、二ツ塚処分場の使用期間を大幅に延ばすことができます。



埋立が進む二ツ塚処分場(平成18年1月撮影)



エコセメントの使い方

土木・建築工事やコンクリート製品などに幅広く使用されます。

普通セメントと同じように使用できるエコセメントは、道路の側溝、縁石といった土木工事や鉄筋コンクリートなどの建築工事への利用、ブロックやベンチといったコンクリート製品など、さまざまな用途に使われます。

エコセメント化施設が稼動すると、エコセメントは各自治体



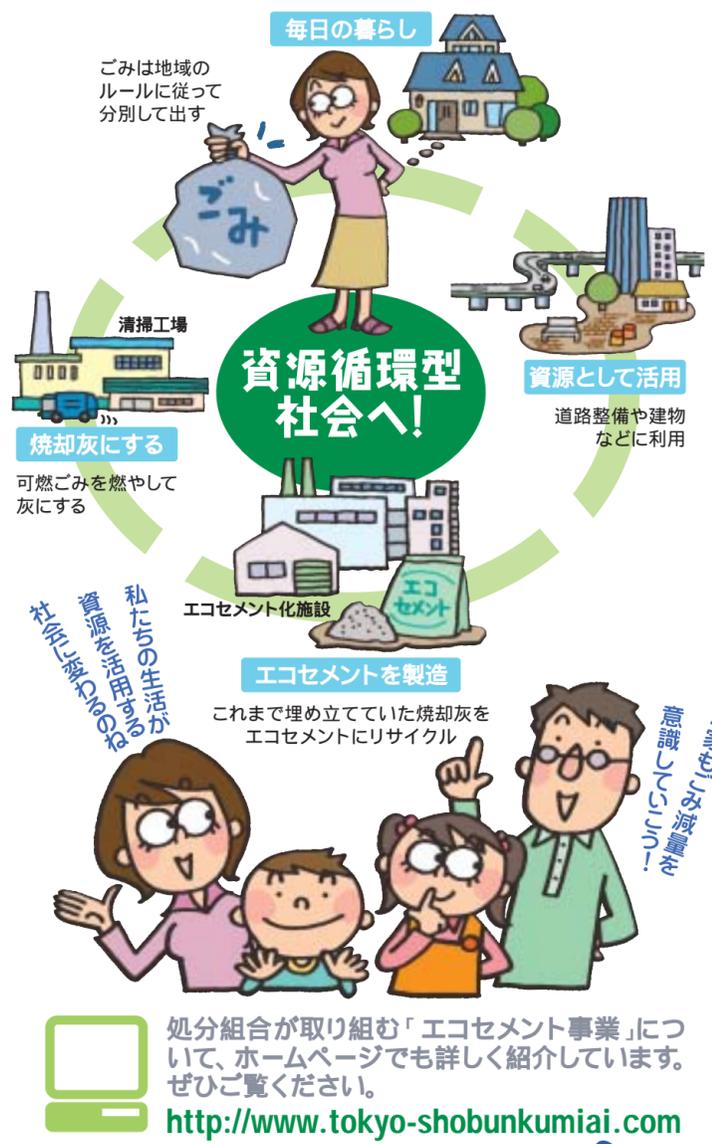
エコセメントで作られたベンチ(二ツ塚処分場)

ウチの近くにもできるかな?

エコセメントは道路の側溝など、土木・建築工事に利用されます。

焼却灰を資源として再利用することで物質循環のシステムを構築します。

このようにエコセメント事業は、埋立処分するごみの量を削減するばかりでなく、物質循環のシステムを構築します。この事業により、リサイクル先進地域である多摩地域は、さらに資源循環型の社会づくりへ大きく前進するのです。



処分組合が取り組む「エコセメント事業」について、ホームページでも詳しく紹介しています。ぜひご覧ください。
<http://www.tokyo-shobunkumiai.com>

次号ではエコセメント化施設の紹介や製造工程を解説する予定です。



新理事の挨拶

新理事：石阪 丈一(町田市長)



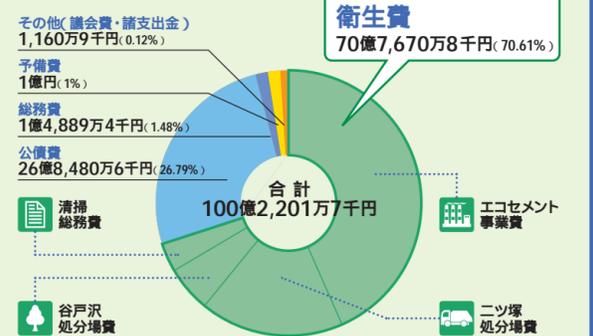
市民参加型のごみ減量に向けて
日頃、町田市のごみ最終処分につきましては、日の出町の皆様のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。ごみを取り巻く環境については、最終処分場の延命化、大量廃棄型社会から循環型社会への移行、持続可能な地球環境の維持等、課題は山積しています。ごみの問題は、市民・事業者・行政が積極的にその役割を果たした上で、協働して取り組んでいくことが大切なことだと考えております。
町田市でも、昨年の10月から家庭ごみの有料化を実施し一定の減量効果は表れておりますが、今後さらなる資源化等を市民や事業者の皆様と一緒に考え、ごみの減量に取り組んでまいります。
最後になりましたが、組合構成市の一員として今後のごみ問題の広域的解決を図っていくために、その役割を果たしていく決意でございます。

平成18年度予算の報告

平成18年度の予算額は100億2,201万7千円で、前年度と比べ、67億2,566万9千円の減少となりました。これはエコセメント化施設建設工事が終了したこと、事業の見直しに努めたことなどによります。

合計	100億2,201万7千円
分担金及び負担金	93億8,450万1千円(93.64%)
歳入	5億2,933万4千円(5.28%)
繰越金	1億円(1%)
財産収入	818万2千円(0.08%)

平成18年度は、施設が本格稼動するエコセメント事業の推進や、二ツ塚・谷戸沢処分場の万全な維持管理を行うための費用を計上しています。歳出の約70%を占める衛生費について、内訳を紹介します。



- 約62% **エコセメント事業費** 44億1,281万9千円
エコセメント事業費は、エコセメント化施設の運営に関わる経費です。
- 約25% **二ツ塚処分場費** 17億9,392万1千円
二ツ塚処分場費は、埋立処理を行っている二ツ塚処分場の運営管理に関わる経費です。
- 約8% **谷戸沢処分場費** 5億4,342万2千円
谷戸沢処分場費は、埋立処理が終了した谷戸沢処分場の維持管理に関わる経費です。
- 約5% **清掃総務費** 3億2,654万6千円
清掃総務費は、処分組合の運営・管理業務に関わる経費です。